

# シリーズ No.5 議員事業所紹介

第24期新任議員事業所をシリーズで掲載します。

## 二渡木材工業(株) 佐野市天神町934 ☎ 22-3225

環境・健康に優しい木のかおり



昭和22年創業以来、木材製品・製材・建材販売を一筋にお客様に提供しております。木の持っているぬくもり、柔らかさをお伝えすることをモットーに、報恩感謝の気持ちで従業員共々一丸となり行動しております。

木の良さが見直されておりますが、時代の流れにともない、建築工法・材料の変化といったような消費者ニーズへの即応が不可欠になりました。一般消費者に限らず公共建築物へ優先的な活用の要望活動も重要であります。

今後、古い考えから脱却した「改革・創造・挑戦」が不可欠であると思っております。(写真は二渡孝夫社長)



両毛地域産業イノベーション協議会は三月十一・十二日の二日間、(株)くま産業高度化センター・群馬県立東毛産業技術センターで「両毛地域産業技術展2005」を開催した。今回は三回目。

両毛地域から四十五社、佐野からは三福工業(株)と(株)東輝の二社が出展、高い技術力をアピールした。

同協議会は、両毛地域における中小・中堅企業の製品開発強化や市場拡大と同時に、産学官の連携により、新事業創出の仕組みを構築することで、地域経済の活性化を図ろうと活動している。



新佐野市に期待するものとして、中心市街地の活性化策、「産業振興施策の充実」、「北関東道の早期完成」などがあげられた。

また、新佐野市の産業立地・振興の問題になるものは、「地場産業の衰退」、「新都市地区と中心市街地との

### 両毛地域産業技術展

## 地域産業界にイノベーションを!

### 佐野から三福工業(株)と(株)東輝が出展

二日間の技術展には、一六〇〇名以上が来場。更なる技術力向上、情報交流に

よる広域的連携と販路開拓につながるようだ。(村野)

### 新佐野市に「北関東道の早期完成」を期待

## 産業経済委員会アンケート

当所では、三月二十二日(火)に平成十六年度第三回産業経済委員会(篠崎博司委員長)を開催した。

平岩副会長、篠崎委員長の挨拶に続き、①「新佐野市に期待する」アンケート調査結果について、②常設委員会の調査研究テーマについて事務局が説明した。アンケートは、同委員会が二月二十八日現在で、当所役員・議員八十名、振興委員二十名の計百名を対象に実施したもの。

### 会員増強プロジェクト結成

## 目標は年間300件 総務委員会

第五回総務委員会(柳澤 単人委員長)が、三月二十五日(金)に開催された。

委員長の挨拶後、①会員増強運動、②会館整備、③

その他は別紙調査報告のとおり。この結果をもとに、今後、正副委員長会議で具

体的活動について検討する。その後、佐野市産業政策部合併調整室長の林行雄氏を迎え、「新佐野市建設計画の概要について」講義を受けた。(青木)

### 三福工業(株) ☎23-4151

ゴム・樹脂の混練加工とEVA発泡体の製造販売

### (株)東輝 ☎23-4145

自動車・家電・医療関係・O・A・建築資材の部品製造

## クレーム処理は平和的に解決を

### 交通運輸・サービス業部会

当所交通運輸部会(笠原泰部会長)・サービス業部会(篠崎勝宏部会長)では三月十一日(金)、「クレーム処理最善の方法」と題して、米川耕一弁護士を迎え、講習会を開催した。

今回の講習会は多くのクレーム案件を取り扱ってきた講師の経験に基づき、また事後処理での実践の場での心理学も兼ねた「クレーム処理・和解の技術」を学んだ。相手方を法律で押さえつける方法は相手方の恨みを残し根本的な解決にはならない。クレーム処理は「平和的解決」に向かっている。当事者双方の共同作業という考えが大切だと語った。(茂木)

## 今までの顧客を大事に

### 商業部会

商業部会(田澤眞人部会長)では、三月二十三日(水)に、経営セミナー「売れるしくみのつくり方」を、山口雅人(マーケティング参謀室代表)を講師に迎え開催した。

商品を売るのではなく、商品を購入した結果を説明できるようにする。新規顧客を開拓するのではなく今までの顧客を大事にする。顧客とのコミュニケーションを大切に。年に一回はイベント開催する。DMは手渡して等、新しさを求めるのでなく商売の原点に帰る。これが売れる仕組みだと話した。(飯塚)

## ペイオフ対策を学ぶ

### 機械金属工業部会

当所機械金属部会(川崎 三代次部会長)と工業部会(三井福次郎部会長)では、三月二十八日(月)に「ペイオフ対策とその対策セミナー」を開催した。

講師は野村證券(株)金融市場情報管理部次長の伊藤順氏。ペイオフ解禁の概要、その対策、最近の資金運用環境の変化、分散投資、金融機関の不良債権処理状況などをテーマに講演した。

財産保全、資金管理・運用の紹介に、参加者は高い関心を示した。(五十嵐)

## 国際食品・飲料展を視察

### 食品部会

当所食品部会(柳澤 単人部会長)では三月十日(木)に、東京お台場の「台場一丁目商店街」と千葉県幕張メッセで開催された「第三十回国際食品・飲料展」を視察した。

「台場一丁目商店街」は、昭和三十年代をコンセプトとしてつくられており、店先には昔ながらの駄菓子や玩具、雑貨等並んでおり、懐かしさを感じさせる商店街であった。

「国際食品・飲料展」では、売れ筋商品の紹介やマーケティング戦略、また、商談等も行っており、参加者も自企業の関連ブースを中心に熱心に視察していた。(千金楽)

## 【万が一のための保険です】

### 日本商工会議所 個人情報漏えい賠償責任保険制度

(専門事業者賠償責任保険 個人情報漏えい賠償責任担保特約条項付)

万が一、個人情報漏えい事故が発生したら…

《例えば》顧客情報(氏名・年齢・性別・住所等記載の名簿3,000人分)を、自社従業員が不正に持ち出し転売してしまった。身に覚えのない業者からの電話勧誘を不審に思った顧客からの通報により漏えいが発覚した。直ちに謝罪広告などの対応を行ったが、漏えいをされた顧客の一部(1,000人)から、「執拗な電話勧誘によりプライバシーを著しく侵害された」として、損害賠償請求を提起され、実害が大きいと判断された賠償金として300人に対しては1人あたり10万円、その他700人に対しては1人あたり1万円を支払うこととなった。また、残り2,000人に対しては見舞金としてそれぞれ500円・合計100万円、全国紙に謝罪広告を掲載したための広告費が500万円、弁護士費用が200万円かかった。

●損害金  
●損害賠償金…  
(10万円×300人)+(1万円×700人)=3,700万円  
●見舞金費用…500円×2,000人=100万円  
●謝罪費用=500万円  
●弁護士費用=200万円  
合計=4,500万円

こんな時のために…安心です!  
『日本商工会議所 個人情報漏えい賠償責任保険制度』の特長は、  
①個人情報保護法対策を進めるために会員にリスク診断サービスを無料提供  
②個人情報保護法に対応した日本商工会議所専用の商品・使用人等の故意も対象・紙データ漏えいも対象・各種割引制度の充実  
③商工会議所会員向けに独自の保険料設定  
※詳しくは、当所業務課まで ☎(22)5511